



100歳おめでとうおめでとうございます

9月のお誕生日で100歳を迎えられた爲本登茂子さん（富西谷）に、日頃利用されているデイサービスの会場で、鏡野町より記念品を贈呈しました。9月15日の敬老の日に合わせ、今年度100歳を迎えられる方へ内閣総理大臣から表彰状と銀杯も届き、合わせて贈呈させていただきました。富地域では、久々の100歳到達と言うことで、盛大にお祝いの会が開催されました。

爲本さんは富西谷でお生まれになり、ご両親の勧めでご結婚されたご主人と田んぼや畑、山仕事を一生懸命されていたそうで、牛を農耕用に1頭飼われていたそうです。50代でご主人が他界されたからは長年お一人で生活されてきましたが、長男さんが退職を迎えたことをきっかけに長男ご夫婦と同居を始められ、今は賑やかな中で過ごされています。

長寿の秘訣は、何でも好き嫌い言わずに食べることで、毎朝ヨーグルトを食べていると教えてくださいました。また、好奇心旺盛で、庭木や人など視界に入った物は何にでも関心を持ち、いろいろなことを家族に話されるそうです。若い頃から体を動かすことが好きで、9人制のバレーボールのセンターをされていたそうです。高齢になっても、ゲートボールを楽しまれています。着物を縫われるほど昔からとても手先が器用で、手芸が大好きだったそうです。

今は、週2回のデイサービスを「家にじっとしているより楽しい」ととても楽しみにされています。



秋の交通安全県民運動 鏡野・津山地域推進大会

9月19日(火)、鏡野町中央公民館にて秋の交通安全県民運動 鏡野・津山地域推進大会が行われました。町内外から100人以上の方が会場に足を運び、交通安全意識の向上を図りました。

まず、来賓の挨拶があり、津山警察署長は、「交通安全意識は心の問題であり、皆さんにもつてもらうのは非常に難しいことだと考えています。交通安全意識が定着し、意識が変われば運転など行動が変わる。行動が変われば結果が変わると思います。安全運動期間中、警察では通学路の安全対策、交通取締りなど様々な対策を行います。警察の力だけでは無理です。是非ともこの地域に交通安全意識の定着を図りたいので、皆さんのお力をお貸しください。」と語られました。

今年7月から道路交通法に新たに設けられた特定小型原動機付自転車について、津山警察署が制作したDVDが上映されました。その中で電動キックボードの正しい乗り方や乗るために満たさなければならぬ要件が紹介された後、壇上で電動キックボードの実演が行われました。

その後、外で出発式が行われました。大きな拍手の中、白バイやパトカーが町内に出発して行きました。



第74回 全国植樹祭記念事業(地域植樹)が行われました

9月30日(土)、恩原高原にて、地域植樹が行われました。これは、令和6年5月26日(日)に57年ぶりに岡山県で開催される第74回全国植樹祭に向けて機運を高めるため、プレイベントとして実施されました。

伊原木県知事をはじめとした来賓の方々やマザクラの植樹を行ったほか、県内各地から約100人の参加者がトチノキ・ヤマボウシなど11種750本の広葉樹を植え付けました。参加者からは「大きくなった木を見にまた来たい。」といった声がありました。

